

## ハンヤン 首都大学東京と漢陽大学校（韓国）は 学術協力に関する協定の調印式をおこないました。

6月21日（火）、漢陽大学校（韓国・ソウル特別市）にて、「首都大学東京と漢陽大学校」との学術協力に関する協定の調印式が実施されました。

今後、教員及び研究者の交流、学生の交流、共同教育活動、共同研究活動、研究及び教育のための合同会議、科学的資料・出版物・学術情報の交換等に取り組んでまいります。

韓国における少子高齢化などの問題は、日本が抱える問題と類似しており、今後、情報技術、ネットワーク技術、ロボット技術などを融合した研究開発の他、大都市が抱える様々な問題を解決する研究討論も盛んになると考えています。また、このような国からの大学院生を積極的に受け入れることで、今後の本学の教育・研究両分野での韓国との親密な取り組みを加速させることが期待できます。

当日は漢陽大学校からは、林 徳鎬（イム・トクホ）学長がご出席され、本学からは原島 文雄学長、青村 茂国際センター長が出席しました。

調印式では協定書の署名・交換の後、懇談が行われ両大学において、研究者交流や共同研究などを進めるなかで、情報共有・発信など、連携への機運を高めていくことを約束し、終了しました。



（原島学長と林学長）



（原島学長と林学長）